



▲9人の園児が晴れて修了式を迎えた安富幼稚園。さあ、4月からはピカピカの一年生ぞい！

目次

- 平成20年度 施政方針
- 切り葉で県の拠点産地認定
- 国保健康便りNO.1
- 山田ジュニアクラブが4連覇！
- 仲泊幼小学校収穫祭
- むらの話題 名嘉真区産業まつり、他

村制100周年記念事業 恩納ナビー物語「天の歌、愛の歌」平成20年5月25日(日)
恩納村ふれあい体験学習センターにて上演決定!!



村のひと (平成20年2月末)

男	5,257人 (+2)
女	5,078人 (-13)
計	10,335人 (-11)
世帯数	4,176世帯 (+11)

広報おんな 4月号 (No.322)

発行/恩納村
〒904-0492 沖縄県恩納郡恩納村字恩納2451番地
編集/総務課 行政係

☎ (098) 966-1200 FAX (098) 966-2779
広報おんなは、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

パッションで39農家を減農薬認証



▲県特別栽培農産物認証制度の認証を喜ぶ(左から)奥間政英JA恩納支店長、大城保昭研究会長、野里耕明生産部会長

本村の39農家(約50人)が生産するパッションフルーツは、科学合成農薬や化学肥料の窒素成分量が県の基準より5割以上削減されているなどの基準を満たしたとして2月15日付けで県特別栽培農産物認証制度に認証されました。

村内でのパッション栽培の歴史は10年近くを経過しており、栽培面積は約3ヘクタール。平成18年度の出荷量は23.5トンでした。村農振協会熱帯果樹生産部会パッションフルーツ研究会(大城保昭会長)は、平成18年から「特別栽培」の勉強会を立ち上げ、全園の土壌分析を行い、分析結果に基づくハウス別施肥計画を作成。減農薬や有機肥料を使用した栽培に取り組んできました。

27日には認証式が恩納集出荷場で行われ、大城会長は「会員や多くの人の協力で認証を得ることができた。今後も精進して安心・安全な商品を提供したい」と意気込みを話しました。

災害時における飲料供給に関する協定を締結

村と沖縄ペプシビバレッジ

村と沖縄ペプシビバレッジ株式会社(宜野湾市大山、多賀良則代表取締役社長)は3月3日付けで災害時における飲料供給に関する協定を締結しました。この協定により、災害時にライフラインが絶たれた際、恩納村役場1階ロビーに設置した自動販売機から飲料供給ができることになりました。

この自販機は非常ボタンを押すと自己バッテリーが48時間作動し、その間に通常の選択ボタンを押して、飲料水を取り出す仕組み。最大800本の飲料水を確保することができ、費用は後日支払われます。県内では、浦添市、北谷町、金武町に続き4台目の設置となりました。

多賀社長は「万が一の時に役立つこの自販機を県内で広めていきたい」と話していました。志喜屋文康村長は「防災ということに村民も注目している。設置は大変ありがたいことだ」とお礼を述べました。



▲災害時における飲料供給に関する協定を締結した多賀良則社長(左)と志喜屋文康村長(3月11日、恩納村役場1階ロビー)

石川警察署から感謝状 村内から3団体・7個人



▲平成20年石川警察署定例表彰式で表彰されたみなさん

石川警察署(大城俊文署長)は2月22日、警察業務各般にわたり、多大な理解と支援・協力を得て、安全で安心な地域づくりのための諸活動に貢献したとして、村内3団体及び7個人へ感謝状を授与しました。表彰された方々は次のとおりです。

【団体】 仲泊老人クラブ、恩納村婦人会、うんなむらカラオケ愛好会

【個人】 松田豊太喜(少年補導員、仲泊)、大城節子(仲泊)、外間現寿(喜瀬武原)、瀬良垣有夫(丸石運転代行)、北村貴徳(仲泊校教諭)、真栄田武、陳文杰(恩納村役場)

平成20年度施政方針



1 はじめに

平成20年第3回恩納村議会定例会に平成20年度一般会計予算をはじめ、各種特別会計予算案を提案し、ご審議をいただくに当たり、村政運営に対する私の所信の一端と施策の概要を申し上げ、村民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

平成19年度は、国、県の厳しい財政状況でありましたが、当初計画致しました諸事業も関係機関、団体等のご指導ご助言を賜り、さらに議会並びに村民各位の絶大なご協力とご支援によりまして、ほぼ計画どおりの進展を

みることができましたことに對し深く感謝申し上げます。

平成20年度地方財政計画における収支見通しは、前年度比0.3パーセント増となり、また、地方交付税と地方税を合わせた一般財源総額は6千6百億円増となっているものの国、地方の長期に渡る債務残高は一向に改善されず、財政状況を活気づかせるには至らず、引き続き厳しい財政運営は避けられない状況といえます。

そのような中であって平成20年度予算は、村民生活の向上を基本姿勢に施策を選択し、ソフト事業へ配慮した予算編成を行い、中でも教育関連事業、福祉保

目次

1. はじめに	2
2. 行財政運営について	3
3. 大学院大学及び周辺整備計画の推進について	3
4. 北部振興策について	4
5. 在日米軍再編に伴う交付金について	4
6. 基地返還跡地利用について	4
7. 公民館建設事業の推進について	4
8. 福祉について	5
9. 火葬・葬斎場の推進について	6
10. 窓口業務・環境保全について	6
11. 商工観光の振興について	7
12. 農林水産業の振興について	7
13. 住み良い集落環境整備について	8
14. 教育文化の振興について	9
15. 上水道について	11
16. 下水道について	11
17. おわりに	11

2 行財政運営について

集中改革プランに基づきこれまで行政改革を進めてきた中で、職員数の適正化、指定管理者制度の導入、事務事業の整理合理化

1 行政改革について

健康事業を充実させ、時代の要求に対応できる行政サービスに取り組んでいきたいと思ひます。また、本年度は、村制施行百周年を迎える記念すべき節目の年であり、これまでの歴史を振り返り、今後の発展を期すとともに、全村民の創意と英知を結集し、記念式典をはじめ、「琉歌の里」にふさわしい記念事業の一環として、恩納ナビーの人物像を描いた舞台劇を上演する計画であります。

これからは、平成20年度の施策について御説明致します。

2 財政運営について

税源の委譲、国庫補助金・負担金の削減、地方交付税の抑制等いわゆる三位一体の改革は、地方自治体の財政運営に大きな影響を及ぼす結果となっています。本村の財政状況は、平成19年度に村税が一時的ではあるが増収となったものの本年度は又厳しい状況に戻るものと推察されます。交付税全体をみますと地方再生対策費として四千億円分や臨時財政対策債を含めた実質交付税額は2.3%の伸び率となるが交付税額が大幅に増えることは期待できない状況であります。

3 百周年記念事業について

今後、財政事業はますます厳しくなっていくものと考えられることから、常に行政コストを意識した村政運営に努めてまいります。

3 大学院大学及び周辺整備計画の推進について

沖縄科学技術大学院大学は、世界最高水準の自然科学系の学術拠点として、沖縄をアジア・太平洋地域の先端的頭脳集積地域として発展させ、さらに産学連携を形成し、国内外の経済・産業界の振興に貢献することを目的

へ大きく変貌し、今や県内はもとより国内有数の観光リゾート村として認知されています。これも、各界の諸先輩方の不断の努力の賜物であり、敬意と感謝を表します。

さて、この村制百周年を記念して、本年から村誌の編纂事業に着手し、概ね3年から4年を見込んだ事業を考えています。また、9月には、記念式典を開催いたします。その内容については、児童生徒を巻き込んだ式典を企画いたします。また、その他に代表的なイベントに百周年の冠をつけて内容を充実させていく予定であります。

としているところであります。現在、独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構によるキャンパス造成工事が着々と進んでおり、平成20年度は大学院大学関連予算として百七億円が内示され、第1研究棟や事務局、実験施設が入る管理棟の建築工事が本格化する予定であります。

また、周辺整備については、県において平成19年8月に策定された周辺整備計画に基づき、今後、大学院大学周辺整備推進本部が立ち上げられる予定であり、国、県、整備機構、谷茶区、民間企業等と連携しながら周辺整備計画の推進に取り組んでまいります。特に、安心して快適に暮らせる居住環境や利便性の向上、子弟教育環境の確立、企業誘致等については地域への波及効果につながるような中長期的展望に立った施策を継続的に展開してまいります。

4 北部振興策について

北部振興策事業の推進につき

ましては、平成14年7月に閣議決定され「沖縄振興計画」及び平成13年に策定された「北部振興事業基本構想」に基づき事業を推進してきました。沖縄振興計画も平成19年度から後期計画に入りこれまでの成果を踏まえ、課題解決に向けて大きく踏み出す重要な年であります。本村におきましては、赤間総合運動公園整備事業、真栄田岬周辺活性化施設整備事業、農作物被害防止施設設置事業（平張ハウス）、谷茶多目的交流施設設置事業等多くの事業を実施して参りました。今後は公共事業、非公共事業においても再検討し、継続的に事業推進に努めてまいります。なお、公共事業において塩屋地区の村営住宅を計画し、内閣府や沖縄県住宅課とヒヤリングを実施し、建設にむけて取り組んでいるところであります。

5 在日米軍再編に伴う交付金について

在日米軍の再編については、

海兵隊司令部や兵員等のグアム移転、嘉手納飛行場より以南の米軍施設・統合・縮小などが示されており、これらが確実に実施されるよう沖縄県としても求めています。なお、本村においては米軍再編に伴い、キャンプ・ハンセンにおける陸上自衛隊の共同使用が、実施されることにに対し、再編交付金が交付されます。今後、駐留軍等の再編に伴う再編交付金の使用についてはソフト事業等も含め基金条例を設置し十分検討を行い、安心して暮らせる総合的な福祉健康予防対策を推進してまいります。

6 基地返還跡地利用について

恩納通信所返還跡地利用計画の推進につきましては、平成19年8月31日に地主会の設立総会が開催され、多くの地権者の参加と理解の基に地主会の設立が承認されました。その後、役員会を開催し、事業計画の実施に向けた、募集要綱を作成し、2社の

企業からプロポーザル方式によりプレゼンテーションを受け、アドバイザーによる企業提案の審査を実施致しました。その結果、民間活力を利用した跡地利用を優先的に行うことができた。企業を選定することができました。今後は地主会の意向に沿った地域経済への波及効果や雇用の確保、観光産業の振興等を踏まえ、総合的な事業計画が推進できるよう関係機関とも連携し、跡地利用の推進に努めて参ります。

7 公民館建設事業の推進について

公民館建設の推進につきましては、これまで地域活動の拠点施設としての役割を担い、戦後激しい社会情勢の中から、区民の献身的な努力によって、小さな区事務所から出発し、住民福祉や伝統文化、芸能の継承、コミュニケーションの場として、長期に渡り地域住民に貢献してきた重要な施設であります。本村として今後も地域振興の核と

なる施設であり継続的に関係機関と協議し、推進に努めてまいります。

8 福祉について

福祉行政の推進に当たっては、民生・児童委員、各ボランティア団体や社会福祉協議会と連携して、住民と行政の協働により、地域でたすけあい安全に暮らせる福祉の村づくりのため、地域における福祉意識の啓発、地域福祉推進体制の充実を図ります。

高齢者福祉については、生きがい健康づくり推進事業、寝たきり予防対策事業等の在宅介護サービスを引き続き実施します。また、運動指導士による各公民館での介護予防教室を開催し、多くの高齢者が参加できる機会の提供に努めるとともに、介護給付費の抑制に努めます。

障害者福祉については、恩納村障害者計画に基づいて「ともに支えあい、働く喜び・生きる喜びにあふれるむら」づくりを目指し、各種事業を実施します。また、小規模作業所を地域活

動支援センターに移行し、障害者の自立に向けた支援体制づくりを推進します。

児童福祉については、子育て支援センターや各公民館での「出前講座」による子育てへの相談や支援を行います。

児童虐待に対しては、恩納村要保護児童対策地域協議会を構成する機関、団体が連携して、発生の予防に努めるとともに、早期発見を行い、適切な支援を実施いたします。

母子保健事業の妊婦健康診査については、これまで2回分の健診料金の助成を行ってきましたが、母体、胎児の健康確保と少子化対策として、20年度より5回分の助成を行います。

次に健康増進について、生活習慣病は、若い時からの生活習慣が発症・進行に深く関わっていることから、若年層の生活習慣の改善が重要となっており、まず、身近な運動習慣推進の一環として、各区でのウォーキング教室や生活習慣病予防を図るための水中運動教室の開催、また、



▲恩納村役場で健康食を紹介する食生活改善推進員のみなさん

また、買い物に行く際の「マイバック持参運動」を推進して、容器包装廃棄物の排出量削減を図る啓発活動を行ってまいります。

③ 墓地について
 今後個人墓設置申請の際は恩納村墓地基本計画の墓地地域へ誘導集約化を図ります。

④ タイワンハブ対策について
 本村においてタイワンハブの異常発生とともに捕獲される数は、年間百匹を超える捕獲地域も広がり、野生化して世代交代の繰り返し予測されており、早急に駆除する対策として、引き続きハブ捕獲器を設置します。

さらに、ハブの増殖地域において、ハブの生息を助長しないよう、雑草の除去、石垣の穴埋め等環境整備し、咬症防止対策に努めてまいります。



▲平成20年度に供用開始される恩納村ふれあい体験学習センター

また、沖縄県衛生研究所や中部保健所管内ハブ対策地区協議会も設置され、連携を密に咬症防止対策に努めてまいります。

11 商工観光の振興について
 グレードの高い海浜リゾートが集積する本村は、国内有数の海浜リゾート地として、また、本県の観光リゾート産業を先導する観光拠点地域として発展しております。今後ますます増加することが見込めることから、

また、沖縄県衛生研究所や中部保健所管内ハブ対策地区協議会も設置され、連携を密に咬症防止対策に努めてまいります。

多様化する観光ニーズに対応していくため、リゾート観光地としての特質である自然環境はもとより、農漁村風景、歴史、文化等の宣伝活動に努め、地域に住む人々や関連する方々の自覚と醸成による観光地づくりを進めてまいります。

近年、観光ニーズも多様化し、従来の「観る」「見学する」といった受動的観光から「参加」「体験」「学習」といった能動的で地域の多様な自然・文化も観光の対象としてとらえる自然志向、本物志向の傾向が増えてきている状況であります。

このようなことを踏まえて、本村においては観光を総合産業と位置づけて、恩納村第2次観光振興計画を柱にした事業を推進し、観光と各種産業の連携による恩納村らしい新たな魅力づくりに努めてまいります。併せて、平成19年5月に設立した恩納村むら興し協議会を強化し、村行政や村内事業所、各種団体、村民が連携するための各種施策を展開していききたいと考えております。

12 農林水産業の振興について
 本村の農業は、沖縄の亜熱帯気候を活かした切り花、切り葉、

仕事忙しい等時間的に教室参加が難しい人を対象にした「健康づくり通信」を実施するとともに、地域での健康づくりを推進するため地域のリーダーを育成し、村民一人一人が自らの健康観に基づいた健康づくりを実践できる村づくりを目指します。

食生活は健康づくりの基礎となることから、食生活改善推進員の育成を図り、地域活動を推進します。

国民健康保険については、医療構造改革における医療保険者の役割分担として、高齢者の医療の確保に関する法律により、平成20年4月から、40歳から74歳までの加入者を対象とする生活習慣病の予防に着目した特定健診及び特定保健指導の実施が義務付けられ、これまで以上にきめの細かい個人の健康づくりへの関わりが必要となります。

そのため、委託保健師等2名を配置して推進体制の充実を図り、国保加入者の健康増進と医療費の抑制に努めます。



▲火葬・葬斎場建設位置

9 火葬・葬斎場建設の推進について
 火葬・葬斎場建設の推進につきましては、昨年度は敷地造成の実設計に基づき、敷地造成工事（六二三三㎡）を実施致しました。本年度は火葬・葬斎場の建築設計を実施いたします。建築工事においては、内閣府や防衛省と協議し、沖縄北部特別振興対策事業の2次分による事業採択に向けヒヤリングを実施し、早急に事業推進を図れるよう努めて参ります。

10 窓口業務・環境保全について
 窓口業務は、訪れたお客様と職員が最初に対面する場で、その対応によって、お客様の役場に対する印象を決定づけることにつながる極めて重要な業務であります。その為、職員には親切、誠実な態度で、手際よく、的確かつ公平に対応することが求められているものと思います。そして、それを実践していくことが村民に満足感を与え、信頼を獲得することにつながり、開かれた村政の実現に大きく寄与するものだと考えております。

窓口サービスとして、戸籍コンピュータ化により、より早く正確に戸籍を作成できるようになり、届出から証明書発行までの時間が短縮され、戸籍事務の迅速効率化が図られており、今年度も更に充実した住民サービスの提供ができるよう努力いたします。

1 年金業務について
 少子高齢化の進展や長引く不況、国の年金記録問題等により、制度に対する理解や将来への不安を抱いている人も多く見られる現状にあります。今後も国民年金制度に対する不安感や無理解が広がっていることから、理解を深める為の啓蒙の推進に努めるとともに、無年金発生防止と将来年金受給を図るため、村民一人一人が安定した老後の生活を営むことが出来るよう、村民福祉の向上を図る立場で積極的に社会保険事務所と協力連携を強化し鋭意努力してまいります。

2 環境及び廃棄物処理等について
 21世紀は、これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄を前提とする社会を見直し、環境共生する維持可能な循環型社会の形成が求められています。恩納村廃棄物基本計画に基づき、ゴミ発生を最小限に抑え、発生した場合も資源として活用し、環境への負荷を少なくした取り組みを村民、事業所、行政とともに具体的に推進してまいります。



▲うんなまつりの「魚つかみ取り大会」

観葉植物など、収益性の高い農業経営へ大きく転換しています。また、自然景観に恵まれた県内有数のリゾート観光地の特質を活かした熱帯果樹にあつては、パッションフルーツが、拠点産地に認定され、アテモヤについても、女性、高齢者の生産意欲が高まり、自然環境と農村景観に

盤整備のための仲泊地区全体計画と、安富祖地区農業用排水施設整備計画を実施します。熱帯果樹にあつてはパッションフルーツの品質平準化と栽培農業者の育成による確保、またアテモヤにあつては、高品質栽培技術向上と、拠点産地の認定に向け、女性栽培農業者の育成、また付

恵まれたリゾート観光地としての本村の農業は、他産業と連携が図れる重要な基幹産業であります。したがって、花卉・観葉生産者の所得向上の具体的な施策として、農業技術支援センターにおける、栽培技術指導講習会の定例化と、施設整備補助事業の計画立案、生産基

加価値確保の観点から、加工品目の開発、産地協議会における各種講習会を開催し、マンゴー等その他の熱帯果樹も含めた、生産安定と販売促進による生産地としての基盤整備を図っていくものとします。また、多面的機能の発揮としては、本村は都市部からの利便性も高いことから「農」の風景にふれ「農」の営みを体験する場としての体験農場や、観光立村の枠組みと連携した、グリーン・ツーリズムの取り組みなどによつて、農地が単に農業生産の場として固定化することなく、地理的特性の効果を発揮する活動を各種補助事業を導入し推進いたします。

さらに、さとうきび生産の維持向上施策として、各地区に集落営農を立ち上げ、肥培管理による反収の向上と、機械化による労働力の省力化を図り、収益性の高い花卉とさとうきびの複合経営の普及を図っていくこととします。畜産にあつては、担い手育成

事業による草地開発による経営安定化と、引き続き生産奨励助成を実施し、品質向上を同時に図っていくものいたします。次に水産振興であります。資源管理型漁業の特質を活かし、海ぶどう、もずく、ヒトエグザ等の栽培漁業の基盤整備を図り、より一層の品質向上によつて、市場における恩納村ブランドの定着化を促進することといたします。

漁業生産基盤の整備にありましては、瀬良垣漁港の航路浚渫と用地整備、船揚げ場、波除堤の建設を実施し、漁港整備がほぼ完了した前兼久漁港にあつては、地元住民の有効利用を促進するため実施に向けた環境整備計画を策定するものいたします。

13 住み良い生活環境について

①村道の整備について

本村の道路網は、南北を縦断する国道58号線を中心に、東西方向を結ぶ県道6号線、104号線、

うるま市・仲泊線、屋嘉恩納線などの幹線道路があり、国道、県道、村道が整備されています。国道58号線は、広域幹線であることから週末や観光シーズンには交通量が増大し、交通渋滞や集落の生活環境の悪化など、影響がでています。そのために、国道バイパス整備を促進すると共に村道へのアクセスも考慮し、村民生活に支障をきたさないように充分な対策を講じてまいります。また、沖縄科学技術大学院大学の進上路でかつ国道バイパスへのアクセス道路として、村道認定した村道76号・大袋原線(旧グランドパーク進上路)を地域交通の利便性を考慮し、国際的な交流拠点で観光発展に繋がる道路として整備していきます。高齢者、障害者向けのバリアフリー等も考慮した安全で快適な交通環境のために70路線、総延長43.8kmの村道を万全な対策で維持管理に臨みます。

②河川管理、整備について

今後の河川管理・整備は、安全で豊かな生活環境を保全するた

め、流域の大きさに配慮し、人と川との関わりをより強めることを目的に河川管理をしていきます。日常的に河口閉塞状態にある河川11カ所を常に点検し改善に努めます。また村管理河川45河川の総延長31.1kmの河川の機能の維持に努めてまいります。また、国から移管された水路等の法定外公共有物についても、その機能の維持管理に努めてまいります。

③集落環境整備について

より良い快適な地域環境の形成を図ることを目的に今年度も各集落における環境整備事業を支援してまいります。

④海岸管理について

本村の風光明媚な海岸域は、観光立村を支える貴重な資源であります。また海浜は、海の幸の採取の場や生産の場、加えて住民の憩いの場として村民生活と深く関わっています。自然と共生する海岸環境の保全に十分配慮し、海岸管理条例等に基づき、海岸の適正な管理に努めてまいります。

⑤ダム建設事業について

地域住民の生活の安定及び環境衛生等洪水対策のため平成17年度から着手している安富祖ダムの継続調査、新に当袋ダム改修の工事を実施してまいります。

14 教育文化の振興について

子どもたちは、個性に応じた様々な夢を持っています。その夢が実現できるよう環境を整え、一人一人に教育という営みを通して、「心に残る教育を創造する」ことが学校の大きな使命であります。社会の急激な変化に主体的に対応できる資質や、自ら学び、自ら考え、自ら課題を見つけ解決できる能力を育成し、基礎・基本の学力の確実な定着や、子ども一人一人の個性を活かす教育を推進していくことが重要であります。学校・家庭・地域社会の連携を深め、地域に開かれた特色ある村づくりを推進し、望ましい勤労観や職業観を身につけさせ、キャリア教育に加え、さら

に、県の「夢・にぬふあ星プラン」を主体として、その方針に則り、より一層の幼児・児童生徒の学力向上に努めてまいります。その為に、基礎的・基本的学力の確実な定着を図り、明るく、思いやりがあり、心豊かな道徳教育の充実と、心身ともに健康でたくましい児童生徒の育成を図ります。

教育こそ村の将来にとつての最重要課題と位置づけ、知・徳・体・食の調和のとれた「たくましい恩納っ子」の育成に努めてまいります。また、学校施設は、子どもたちにとって一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、また、地域住民の活動の場でもあります。災害時は避難場所にもなることから、快適で充分な安全性、防災性、防犯性や衛生的な環境を整えた安全・安心なものでなければならぬので、老朽校舎の施設整備を計画的に推進してまいります。

①学校教育の充実

①幼稚園においては、遊びを通しての総合的な指導の充

実や基本的な生活習慣の形成・園内研修の充実をはかります。

②障害のある幼児・児童生徒一人一人に、適切な教育が行われるよう普通学級及び特別支援学級での受け入れ体制の充実を図ってまいります。

③各学校の特色を生かした学校教育を推進します。

④学校図書の実を園、幼児・児童生徒の情操教育に役立てる地域人材の活用を図りながら読書活動を強力に推進してまいります。

⑤基本的な生活習慣は、人格形成において最も重要であり、生命尊重・健康・安全・規則正しい生活の推進や生徒指導体制・教育相談体制の推進を図ります。

⑥小学生宿泊学習や中学生の職場体験学習及びフォーラムの開催をはかります。

⑦外国人英語助手(ALT)の活用を図り、国際性豊かな人材の育成を図ります。

⑧コンピュータ操作活用能力の一層の向上を図ります。

⑨「共に生きる地域社会」を目指す自然・人・地域とのふれあいを通し、思いやりの心や感謝の心、感動の心を持つ「心豊かなたくましい子」の育成や人権教育の推進を図ります。

②学校給食について

学校給食は、学校教育活動の一環として実施され、将来を担う児童生徒の健康の保持増進のためにも、その重要性は益々高まってきております。その意味で学校給食は、栄養のバランスのとれた食事を提供し、食事についての正しい理解と望ましい食習慣を形成する役割を果たしてきており、今後とも、学校給食を通じて「食の教育」を一層充実させ、家庭、地域と連携を図りながら地場産物の活用を学校給食の中に積極的に取り入れると同時に、安全で安心のできる学校給食を提供し、学校給食における衛生管理をより一層推進していききたいと思います。

③生涯学習について

物質的豊かさから心の豊かさへの意識の変化や価値観の多様化、余暇時間の増加により多種多様な高度化する学習要求に可能な限り対応するため、生涯学習内容の充実を図るとともに各種団体等の指導者研修会・シルバー教室・いきいき女性教室・楽らく子育て教室・各公民館等における講座の支援を実施し、村民一人一人が支えあう生涯学習の気運づくりに取り組んでまいります。

④文化活動について

文化活動は、豊かな感性を育むとともに、村民の心のよりどころを求める活動であり、引き続き、地域芸能や文化協会の側面的な支援・村民の様々な文化活動の充実に努めるとともに、平成17年5月から準備をしてまいりました「おんなナビ」物語の舞台化を、村制百周年の記念事業として上演していく考えであります。

⑤文化財について

文化財は、私たちの祖先が築



▲平成20年2月に完成した仲泊小中学校新校舎

蒙普及に取り組み、水洗化率の向上に努めてまいります。

17 おわりに

平成20年度の村政運営にあたり所信の一端を申し述べましたが「青と緑の躍動する村」づくりに向けて、全力を傾注していく所存でございます。

議員、村民各位のご指導とご協力をお願い申しあげまして、平成20年度の施政方針と致します。

平成20年3月7日

恩納村長 志喜屋文康

16 下水道について

下水道は、村民が健康で快適な生活を営んでいくために、欠くことのできない重要な施設であり、清潔で快適な生活環境の改善と公共用水域の保全を図るため、今年度は、山田地区の汚水処理施設工事と管路施設工事を進めてまいります。また、喜瀬武原地区については、住民への啓

15 上水道について

上水道事業につきましては、給水区域拡張整備計画に基づき、仲泊以南区域(真栄田、塩屋、宇加地地区)へ安定、安全な水供給

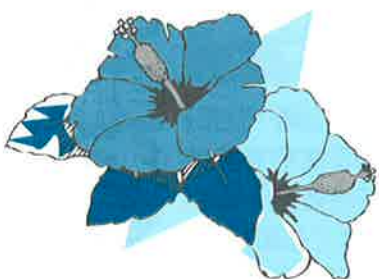
き上げ、地域の中で大切に守られてきた財産であります。これらの文化財を活用した「親子文化財めぐり・歴史ロードを歩く」事業を継続実施し、文化財保護思想の啓発に努めます。

また、「山田グスク」が国指定へ向けての申請手続きが完了しており、指定後は整備活用に向けてまいります。

⑥生涯スポーツについて

すべての村民が生涯にわたってスポーツ・レクリエーションを楽しむことが出来るとともに、健康の保持増進や体力の向上、相互の交流を図り、より多くの村民が参加できるよう、スポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくりを行い、スポーツ施設の開放を行います。

財政改革が叫ばれているなか、赤間運動公園の管理について、指定管理者制度を導入し、管理運営費の節減に努め、民間活力で積極的な活用を図ってまいるとともに、スポーツ競技団体等並びに優秀選手等の支援も引き続き実施いたします。



国保健康便り

健康恩納 21 笑い福々 充実ライフ
みんなで目指そう 健康うんな村

みんなでいきいきチャーがんじゅー

○いよいよ特定健診・特定保健指導がはじまります!

No.1

- 4月から**40～74歳**の方を対象に特定健診がはじまります。
- 特定健診とは・・・糖尿病等の生活習慣病、とりわけ内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の該当者、予備軍を減少させるため、保健指導を必要とする人をみつけるための健診です。
- 特定健診は**各医療保険者ごと**になります。（国保・社会保険・健康保険）
- 恩納村は、**恩納村国保の方を対象に特定健診・特定保健指導を行います。**
- 健診受診率に応じて、**国からペナルティー（罰則）があります。**



	H18年度	H24年度
① 特定健診受診率	41.4%	65%
② 特定保健指導実施率	—	45%
③ 内臓脂肪症候群該当者 及び予備軍の減少率	—	10%

達成しないと、
5年後から毎年、
1800万円
ペナルティー

- みんなで特定健診を受け、5年後に**健診受診率65%**を目指しましょう。
- 特定健診は、長期入院、妊娠婦、海外在住、刑務所入所中のものを除き、**40～74歳の方全員になります。**

～ハッピースリム教室終了～

1月7日から3月6日までの2ヶ月間、タラソ沖縄において、村国保主催のハッピースリム教室（水中運動教室）を行いました。参加者17名の合計減量は25.2キログラム、腹囲も合計35.7cm減っていました。参加者の皆さんから、「体が軽くなった。」「体が動かしやすくなった。」「よく眠れるようになった。」「健康を意識するようになった。」という声がかれました。その他にも、「定期健診で、血圧と血糖が良好の状態とほめられた。ハッピースリム教室に通いはじめてから、体重が減ったので、体重計に乗るのが楽しくなった。」「教室後半から他の参加者とお話が出来るようになり、元気付けられました。家族のようです。皆さんの引き締まった笑顔を見て、ハッピースリムバンザイ!!」という声が聞かれました。今年の教室は、8月頃から3クール募集する予定です。乞うご期待!



▲「ハッピースリムバンザイ!!」受講者のみなさん

恩納村役場
福祉健康課 国保係

電話 966-1207

切り葉で
県の拠点産地認定!

恩納村は2月15日、県農林水産部からドラセナ類（切り葉）の生産地として、県の拠点産地認定を受けました。本村のドラセナ類は「定時、定量、定品質」の原則に基づき安定出荷していて、県内最大の40%のシェアを占めています。2006年度の出荷額は1億2,900万円でした。

同日の認定式には志喜屋文康村長が出席し、「観光立村として、農業と観光を結びつけていく上で、拠点産地認定は私たちの励みになる」と喜びを語りました。護得久友子農林水産部長は「さらなる品質向上と生産拡大に努め、ほかの産地をリードし、沖縄の農林水産業の発展に貢献してほしい」と激励しました。



▲県の拠点産地認定式に出席する志喜屋文康村長(右)と関係者のみなさん

安心して暮らせるまちづくりを!

▲浜口茂樹村長会長(中央)へ青色回転灯を贈る
土居直美恩納ライオンズクラブ会長

恩納ライオンズクラブ(土居直美会長)は2月15日、村役場において、5個の青色回転灯を村内5校へ贈呈しました。土居会長は「地域の子供たちを守り、防犯意識を高め、安全で安心して暮らせるまちづくりのお手伝いをしたく、村内各小中学校へ青色回転灯を贈呈します。これからも安全なまちづくりに微力ながらお手伝いしたい」とあいさつを行いました。村校長会長の浜口茂樹山田校長は「近年、全国的に児童生徒を狙った犯罪が多発している。青色回転灯を有効活用し、子ども達の生命をしっかりと守っていききたい」とお礼を述べました。

結成11周年を迎える恩納ライオンズクラブは、昨年も青色回転灯を役場・各公民館へ贈っています。



▲おんなの駅冬の収穫祭で福引き抽選会を楽しむ親子



おんなの駅なかゆくい市場(當山憲一社長)は2月9、10日の両日、冬の収穫祭を開催しました。旬の野菜の特価価格販売や福引き抽選会、手づくり工芸体験などもあり、多くの観光客や地元客で賑わっていました。

おんなの駅
なかゆくい市場
冬の収穫祭で賑わう!



▲できあがったカレーを配膳する子どもたち

▲「カレーまだかな？」うちわを仰ぎ、火力を強める子どもたち

ぼくはカレーが大好き！
おいしいね！

仲泊幼稚園、小学校（金城孝次園長兼校長）の児童192人は2月21日、同校運動場で毎年恒例の収穫祭を開きました。収穫祭のメインディッシュは、ジャガイモをふんだんに使ったカレーライスです。ジャガイモは、子どもたちが昨年11月に校内の畑に植え付けをし、収穫祭2日前に掘り起こしたばかりの新ジャガです。

幼稚園から小学6年の児童を混合で9班編成し、男子はドラム缶の準備女子は材料の下ごしらえを行いました。植え付けから収穫、そして調理までを自ら体験した子どもたちからは「おかわり」「お母さんが作ったカレーよりおいしい」といった声が聞かれました。

仲泊小学校で
収穫祭

科学を身近に感じて



▲政井博士の講話に真剣な表情で聞き入る山田中の生徒たち



▲研究内容を説明する政井一郎博士

恩納村むら興し協議会大学院大学協力部会（島袋正重部長）は2月25日、子どもたちに科学を身近に感じてもらうと、沖縄科学技術研究基盤整備機構代表研究者の一人、政井一郎博士を山田中学校に招いて、講演会を開きました。

政井博士によると、「目は脳がとびだしてできたもの。目は脳の一部」だそう。また、英国ロンドンへ留学していた時のエピソードで、「大英博物館は無料で入れる。5、6歳の子どもがノートを手一人で館内を見学していた。科学を身近に感じるには、そういう環境が必要なのかなと思う」と紹介していました。

講話後の質疑応答では、「中学の頃はこういう生徒でしたか」や「休日は何をしていますか」といった活発な質問がありました。政井博士は「中学は公立で中の上くらいの成績。特に勉強した記憶はないが、研究者になりたいとか外交官になりたいという友人に刺激を受けた」と質問に答えました。また、「研究成果を報告するのに日本語や英語での説明が不可欠。まずは日本語を鍛えて、説明能力を身につけてほしい」と生徒たちにアドバイスしていました。

大学院大学代表研究者が山田中で講演

山田ジュニアクラブが4連覇！

恩納村少年野球新人大会

恩納村建設業者会杯第7回恩納村少年野球新人大会決勝戦が2月11日行われ、山田ジュニアクラブA対恩納クラブAの対戦となりました。1回に恩納クラブが先取点を上げましたが、その裏山田ジュニアクラブがすぐに追いつき、終盤に勝ち越し点をあげた山田ジュニアクラブが3対1で接戦を制しました。山田ジュニアクラブは、この大会4連覇を達成しました。殊勲賞は吉山盛敦君（山田）、敢闘賞は佐渡山安斗君（恩納）、打撃賞は島袋倫君（恩納）6打数4安打が受賞しました。



名嘉真子ども会が制覇！小学生駅伝競走大会



▲接戦だった2位の仲泊子ども会と3位の安富祖子ども会

恩納村青少年健全育成協議会（志喜屋文康会長）は2月24日、村コミュニティ広場において、第6回恩納村小学生駅伝競走大会を行いました。時より日差しが覗く絶好のコンディションの下、6チームが参加して行われました。瀬良垣チームの親泊元太君の力強い選手宣誓後、全7区間で健脚を競い合いました。

優勝は名嘉真子ども会、2位は仲泊子ども会、3位は安富祖子ども会となりました。区間賞は1区から順に池原寛仁（安富祖）、宜野座華奈子（名嘉真）、宮国佑太（仲泊）、名嘉真舜（瀬良垣）、米倉あやか（名嘉真）、金城春紀（安富祖）、金城昂（富着）となりました。（敬称略）

一流の技を教わる！

児童生徒の夢と希望を育み、努力する事の大切さを学ぶ機会として、恩納村教育委員会（西銘宜寿教育長）は2月11日、ONNA赤間ボールパークにおいて、現在キャンプ中の韓国プロ野球三星ライオンズ（ソン・ドンリョル監督）による野球教室を開きました。

教室には小中10チームが参加し、バッテリーと野手に別れて約90分間基礎の大切さと技術を教わりました。仲泊ヤンキースの田仲智成君と瀬良垣クラブの親泊麗美さんが「今日はありがとうございました。教えてもらった事を一生懸命がんばります」とお礼を述べ、花束の贈呈を行いました。



▲三星ライオンズ選手から熱心に指導を受ける球児たち

サムソンライオンズが
野球教室



▲第32回中頭地区中体連新人ソフトボール大会と第31回沖縄県中学校新人ソフトボール大会で五年ぶりに優勝を果たした安富祖中男子ソフトボール部

5年ぶりの優勝を報告！

安富祖中男子ソフトボール部

安富祖中学校（與那覇清徳校長）の男子ソフトボール部は、第三十二回中頭地区中体連新人ソフトボール大会と第三十一回沖縄県中学校新人ソフトボール大会において、両大会とも五年ぶりに優勝を果たしました。

二月十三日には、村教育委員会（西銘宜寿教育長）を訪れ、喜びの報告をしました。主将の桑江篤史君は「みんなの力を合わせ、周りの声援のおかげで優勝できました。九州大会でも、心を一つにして優勝します」と力強く抱負を述べました。西銘教育長は「みなさんの家族、地域の方、協力を受けた関係者の方への感謝の気持ちを大事にしてください。後輩も君たちを誇りに思っています」と激励しました。九州大会は来月、佐賀県で行われます。



▲海を眺めることができる放送室で、少人数に分かれて授業を受ける小5の児童たち



▲小2の図工の時間。教室横の多目的スペースを利用して、のびのびと絵を描く子どもたち

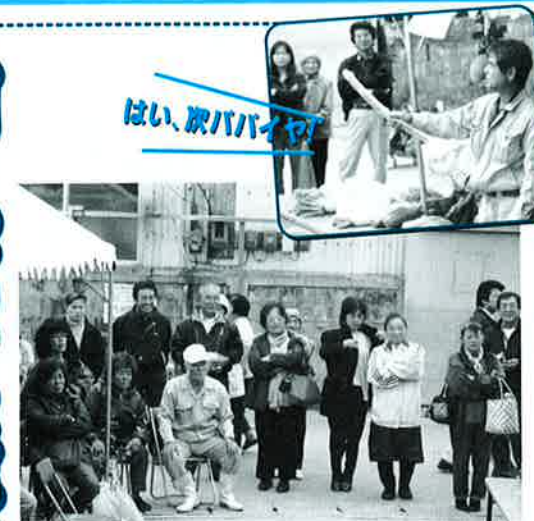
新しい校舎でのびのびと学ぶ！

仲泊小中学校（金城幸次校長）は二月十二日、待ちに待った新校舎での授業をスタートさせました。校舎は三階建ての鉄筋コンクリート造りで、述べ床面積は三三六三㎡。総事業費は七億一千万円。工期は平成十九年六月十八日から平成二十年一月三十一日。バリアフリー構造となっていて、全教室から海が望めます。児童会長の金城珠利亜さん（小六）は「三日間の引っ越しは大変だったけど、新しい校舎はとてもきれいで便利」と話してくれました。また、前生徒会長の比嘉真君（中三）は「新しい校舎に移って勉強が楽しい。いやなことがあってもきれいな海を眺めると癒される」と卒業前の完成にとっても喜んでいました。

一月に赴任した金城幸次校長は「校舎は子どもたちにとって快適で、十分な安全性、防災性、防犯性を備えている。地域にとっても学習や文化活動の拠点として利用してもらいたい。非常災害時の避難場所としての機能も充実している」と満面の笑みを浮かべました。（写真は二月十三日撮影）

むらの話題

旧正月は産業まつり！



▲威勢のいいセリのやりとりを楽しむ観客



▲展示作品を見物する来場者

名嘉真産業まつり

名嘉真区（仲嶺真武区長）は旧正月の二月七日、区公民館で第五回産業まつりを開催しました。様々な野菜や植物、果物などの展示の他、手工芸作品や漬物などの試食コーナーもあり、訪れた人々の目と舌を楽しませていました。お昼には熱々のチーリチャーも振る舞われ、来場者は舌鼓を打っていました。屋外ではシークワーサーの苗木の接ぎ木講習会もあり、受講者は寒空の下熱心に作業をしていました。

また、山芋スープも行われ、一位は東常雄さん（五十九kg）、二位は当山興幸さん（三十kg）、三位は東功さん（二十六七kg）が受賞しました。出展された農作物はセリにかけられ、あっという間に完売していました。



▲完成したおせちを前ににっこりほほ笑む商工会女性部のみなさん



▲111個のおせち作りに励む会員のみなさん

「手作りおせちで良い旧正月を迎えてください」と村商工会女性部（宇室久美子部長）の会員十六人は二月六日、村内のウチナー風おせち料理を配達しました。この事業は、女性部が地域へのボランティア活動の一環で毎年実施していて、今年で十四回目。村内の八十歳以上の一人暮らしをしているお年寄りが対象で、おせちは無料で振る舞われます。

会員は、前日から材料の買い出しや仕込みを行い、当日は朝から配達時間の三時まで一丸となって、おせち作りに励んでいました。完成したおせちには「年重に重に喜びん重に米寿風車百歳までん」と願いを込めたのしとともに一つ一つお年寄りのもとへ届けられました。

商工会女性部が配達サービス

旧正月を手作りのおせちで！

障害児福祉手当・特別障害者手当制度について

沖縄県では、精神または身体の重度障害のために、常時特別の介護を必要とするなど、特別な負担を軽減することを目的として、在宅の重度障がい児・者に対する障害児福祉手当・特別障害者手当を支給しております。

支給対象者	障害児福祉手当	精神または身体に著しい重度の障害があるため、日常生活において常時特別な介護を必要とする20歳未満の在宅の障がい児で、福祉保健所長の認定を受けた方。 ※なお、以下の場合には対象となりません。 ①施設に入所(通所を除く) ②政令で定める公的年金を受給している方。
	特別障害者手当	精神または身体に著しい重度の障害があるため、日常生活において常時特別な介護を必要とする20歳以上の在宅の障がい者で、福祉保健所長の認定を受けた方。 ※なお、以下の場合には対象となりません。 ①施設に入所(通所を除く) ②病院又は診療所に3ヶ月以上継続して入院されている方。
支給制限	手当を請求する方の前年の所得が一定金額以上ある場合、又は同居している配偶者や扶養義務者の前年の所得が一定金額以上ある場合には、手当の支給が制限されます。	
手 当 額	障害児福祉手当	月額14,380円(平成20年4月現在)
	特別障害者手当	月額26,440円(平成20年4月現在)
支 給	毎年2月・5月・8月・11月の4回に分けて、その前月分までの3ヶ月分を、届け出た金融機関の口座にお振込みします。	
申請手続について	認定請求書・所得状況届・所得証明書・住民票謄本の写・認定診断書などの必要書類を添えて、恩納村役場福祉健康課 地域福祉係窓口まで提出してください。 なお、詳しいことや認定請求書などは恩納村役場福祉健康課または中部福祉保健所総務福祉班にありますので、お問い合わせ下さい。 お問い合わせ：恩納村役場福祉健康課 地域福祉係 TEL:966-1207 沖縄県中部福祉保健所 総務福祉班 TEL:938-9709	

児童福祉週間について

子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的として、毎年5月5日の「子どもの日」から1週間を「児童福祉週間」としています。

恩納村では、今年も社会福祉協議会との共催によりこいのぼり掲揚式を4月後半に予定しております。

村内園児の元気いっばいの歌声とともにこいのぼりを掲揚し、役場前に10日間程掲揚する予定です。

ゴールデンウィークあたりにのぞいてみてくださいね。

恩納村福祉健康課



村税の「前納報奨金制度」 廃止のお知らせ

くらしの情報

Information on living

平成20年度から「全期前納報奨金制度」が廃止になります。

平成19年9月定例村議会において恩納村税条例が改正され、村民税・固定資産税について、第1期の納期限内に一括して納付した場合に交付していた「前納報奨金」を平成20年度から廃止する事になりました。

この制度は、税収の早期確保と納税意欲の高揚を図る目的で創設された制度です。近年は金融機関の増加による窓口納税、口座振替の普及により納税の便宜が図られ、納税者の意識も高まりました。また、村民税の給与からの特別徴収については、制度の適用がなく納税者の間に不均衡があるなど行財政改革の一環としてこの制度を廃止します。

これまで、この制度をご利用頂いた皆様にお礼を申し上げますと共に制度の廃止につきましては、何卒ご理解の上、今後も自主納付についてなお一層のご協力をお願いします。

◆報奨金制度はなくなりますが、全期前納についてはこれまでどおりご利用いただけます。

◆全期前納制度をご利用の方で、期別納付に変更を希望される場合は、お手数ですが下記窓口で手続きをお願いします。

納税は、便利で確実な口座振替のご利用を

※税の公平性を保つ為、滞納者に対しては、滞納処分(財産の差押等)を徹底して行ないますので、納期内の納付が困難な方は、下記まで早めにご連絡ください。

お問い合わせ 恩納村役場 税務課 電話098-966-1206(内線103)
FAX098-966-1266

沖縄県では、2008年7月より、自販機でのたばこ購入に 専用のICカードが必要になります。

未成年者喫煙防止の取組みの一環として、沖縄県のたばこ自動販売機は、2008年6月までに成人識別たばこ自動販売機に変わり、ご利用の際には専用のICカード「taspo(タスポ)」が必要になります。

沖縄県では、2008年2月より成人を対象にカードの申込受付を開始し、2008年7月よりカードが必要になります。

発行手数料、年会費は無料です。申込書はたばこ販売店店頭などで入手できます。



詳しくは、taspoホームページをご覧ください。http://www.taspo.jp/

【お問い合わせ先】(社)日本たばこ協会 taspo運営センター

■taspoダイヤル 0120-222-180 (通話料無料)

■携帯電話からは 0570-021-340 (通話料有料)

受付時間 9:00~17:00(土日祝日のぞく)※紛失、盗難の際のお問い合わせは24時間受け付けています。